

市町村名	豊見城市
------	------

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	瀬長島環境拠点整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
平成24年度策定の「瀬長島観光拠点整備計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等を整備し、島全体の利便性の向上を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	379,010	-	264,000	-	
	(b) 予算現額	379,010	-	298,110	-	
	(c) 増減額 (b-a)	0	-	34,110	-	
	(d) 繰越額		205,349	-	142,880	
	A. 計 (b+d)	379,010	205,349	298,110	142,880	
	B. 執行済額	172,745	199,011	155,230	121,021	
	うち交付金充当額	138,196	159,201	124,183	96,817	
	次年度繰越額	205,349	-	142,880	-	
	執行率 (%) (B/A)	45.6%	96.9%	52.1%	84.7%	
予算の状況の説明	工事において関係機関との調整に不測の日数を要したため、142,880千円を平成28年度に繰越した。不用額21,859千円については、委託、工事の入札残によるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度
		瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託業務、屋外トイレ棟、無電柱化340m、中道道路250m、防犯灯施設530m)	目標 (整備を行う)	()	()	()
	実績	整備				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	平成27年度に無電柱化工事、防犯灯設置工事を行った。平成27年度から平成28年度にかけて屋外トイレ建築工事、中道道路整備工事を行った。					

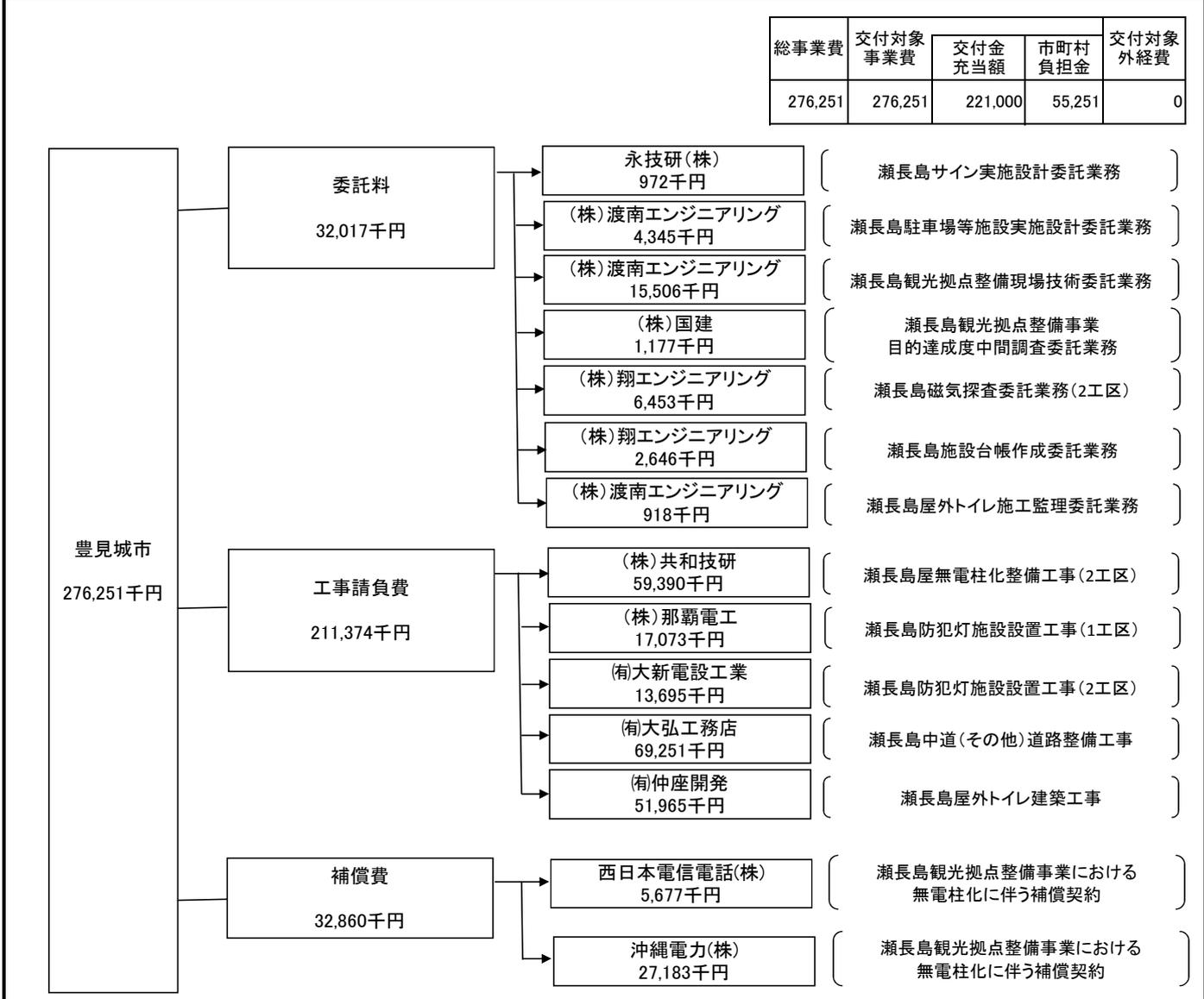
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		全体整備計画の76%完了(中道道路、屋外トイレ、無電柱化整備の完了)による瀬長島全体の利便性向上	目標 ()	(利便性向上)	()	()	()
			実績	利便性向上			
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	無電柱化工事、防犯灯設置工事を行うことによる景観及び防災性・防犯性の向上を図り、屋外トイレ、中道道路を整備することにより多くの来島者の利便性向上が図られ、成果目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>瀬長島は那覇空港に隣接し、自然海浜に囲まれた風光明媚な島で、観光地として良好な立地条件にあることから、観光産業の振興を図るために平成24年度に「瀬長島観光拠点整備計画」を策定し、平成27年度は、屋外トイレ、無電柱化、中道道路、防犯灯施設等の整備に取り組んでいる。</p> <p>工事施工に先立ち関係機関との調整に不測の日数を要したことから平成28年度に繰越を行い事業を実施した。</p> <p>民間企業による観光関連施設の開業から、事業の早期整備に加え、利用者に支障の少ない整備方法が望まれる。</p>	<p>当初計画より発注時期が遅れたことから、今後の事業実施に際しては、関係機関との調整にこれまで以上に緊密に行い、より効率的に工事が進められるように努めていく。</p>

今後の取り組み方針

瀬長島観光拠点整備計画に基づき、本市の観光拠点としてふさわしい整備を実現するため、受注者等で構成される連絡協議会を設立し、週1回程度の調整会議を行い、現場内での連携を図ることにより、より効率的に工事を進められるように努め、必要な施設並びに設備等の整備を実施し、島全体の利便性向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者の中から指名競争入札を実施して選定しており、妥当だった。 ○事業年度に合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	